



小林 沙羅 ©NIPPON COLUMBIA

4.9回 ちょっとお昼にクラシック 小林沙羅 (ソプラノ)

子守歌、アヴェ・マリア……ぬくもりのある母の歌声

文 篠田大基

春到来。桜の季節にふさわしく、あたたかく美しい歌声がコンサートホールを彩ります。人気のランチタイム・コンサート・シリーズ「ちょっとお昼にクラシック」、4月9日(日)は、国内外でその実力が高く評価され、人気が高まっているソプラノ歌手の小林沙羅さんを迎えてお贈りします。共演は、CDやコンサートで小林さんの伴奏を務め、透明感のある音色で心地よいアンサンブルを聴かせているピアニストの河野紘子さん。そして——これが今回のコンサートの特色のひとつですが——3人目の共演者としてチェロが加わります。読売日本交響楽団首席代行を務める実力派チェリストの高木慶太さんです。人間の声に近い音調と言われるチェロが、ときに歌に寄り添うように、また別のときには歌と対話するように、アンサンブルに加わると、音楽は一層深みを増します。歌とピアノとチェロが奏でる、ぬくもりのある音楽に、ゆっくりと身をゆだねてみませんか。

小林沙羅さんは、オペラ歌手として、また、宗教曲や声楽付き管弦楽曲のソリストとして、国際的な舞台で活躍されてきました。水戸芸術館では2014年の「クリスマス・プレゼント・コンサート」にご出演くださり、そのピュアで、しかも芯の通った歌声が大きな拍手を巻き起こしました。けれども印

象的だったのは歌声だけではありません。このときは30分に満たない短いステージでしたが、薔薇の花に因んだ歌曲から始めて、クリスマスに因んだ曲、そして得意のオペラ・アリアで締めくくり、アンコールで再び花の歌に戻って自ら作詞作曲した〈えがおの花〉を歌う、というプログラム自体がよく練られた内容でした。

今回のコンサートでも、小林さんは明確なコンセプトをもとに曲目を選んでいきます。そのコンセプトは「母性」という言葉に集約できるでしょう。2014年のステージからおよそ2年半。その間に小林さんには第一子が誕生。昨秋発売された小林さんの新譜CD『この世でいちばん優しい歌』(日本コロムビア)は、妊娠中に録音されたアルバムでした。

小林さんはインタビューのなかで、妊娠と出産の体験が歌手としての表現の幅を広げることに繋がった、と語っています。

「歌手って体が楽器なんです。だから〔妊娠で〕その楽器が変わっていくんですよ、日に日に。どんどんお腹が大きくなっていて、そうすると臨月の頃なんかは息の入る場所が少なくなっていて。あとお腹に赤ちゃんがいると安定するんですよ。歌では「支え」と言うんですけど、それがしっかりするので。今までは筋肉で支えていた部分

が、筋肉を使わなくても勝手に支えられるんです。だから赤ちゃんが大きくなるにつれ、日に日に感覚が変わっていきました。〔…中略…〕歌手としてはとても面白い経験だったなと思います。短期間で色々な楽器を使ってみる、というような。結果、色んな奏法を試した事によって、発声法の引き出しが増えたように思います。」(小池直也氏によるインタビュー。『Music Voice』より。<http://www.musicvoice.jp/news/20161231056021/>)

今回の約1時間のコンサートを貫く1本の軸は、北原白秋作詞の童謡〈揺籃ゆりかごのうた〉に代表される「子守歌」。そして、様々な作曲家による〈アヴェ・マリア〉がもう1本の軸になっています。〈アヴェ・マリア〉は聖母マリアという、いわば母親の理想像を讃える歌と言ってよいでしょう。ドイツ後期ロマン派の作曲家マックス・レーガーによる〈マリアの子守歌〉のように、この2本の軸の交点に位置する曲もあります。新譜CD『この世でいちばん優しい歌』に収録された曲も数多く歌われますが、今回のコンサートを逃してはなかなか聴くことのできない、けれどもコンサートのコンセプトにぴったり、という曲もあります。19世紀にオペラ歌手、作曲家、音楽教師として多才ぶりを発揮し、同時に4人の子供を育てた女性ポリーヌ・ヴィアルドによ

るソプラノとチェロとピアノのための作品〈星〉には、ぜひご注目いただければと思います。地上を照らす星の光が、母親の優しいまなざしのようにも感じられ、安らかな気持ちになれる音楽です。

母親になって「体の状態も、精神的な面でも凄く今エネルギーに溢れてい

るのを感じている」という小林さん（上記インタビューより）。4月9日、水戸芸術館に再び響くことになるその歌声は、2年半前とはまた違った魅力をもって、私たちを包み込むことでしょう。

ちょっとお昼にクラシック
小林沙羅（ソプラノ）

4/9（日）13:30 開演（13:00 開場）

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

全席指定 1,500円（1ドリンク付）

曲目 シューベルト：アヴェ・マリア 作品52の6、D.839

草川 信：揺籃のうた

ヴィアルド：星 ほか

4.2回 「茨城の名手・名歌手たち 第27回」出演者オーディション オーディション それは音楽家たちの真剣勝負

文 篠田大基

毎年春、水戸芸術館コンサートホール ATM で音楽家たちの真剣勝負が繰り広げられます。茨城ゆかりの優れた音楽家を発掘しようと水戸芸術館が行っている「茨城の名手・名歌手たち」の出演者オーディションです。今年の第27回オーディションは4月2日（日）、鍵盤楽器、弦楽器、邦楽（以上ソロ）、邦楽アンサンブルの4部門を対象に審査を行い、入場無料で公開いたします（出願はすでに締め切りました）。

このオーディションは毎年激戦で、例年50組程度の応募に対して合格者は10組未滿という回がほとんどです。それでも水戸芸術館開館以来、過去26回を経て、合格者はのべ300組を超えるほどになりました。これまでの合格者のなかには、第1回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位の小泉恵子さん（ソプラ

ノ／第1回合格）、リーズ国際ピアノ・コンクール第3位の大崎結真さん（ピアノ／第3回合格）、第66回日本音楽コンクール第2位（1位なし）の清水良一さん（バリトン／第7回合格）、最近では、第30回日本管打楽器コンクール第1位の箱崎由衣さん（クラリネット／第22回合格）、第6回アドルフ・サククス国際コンクールで第2位の上野耕平さん（サクソフォン／第24回合格）など、今の日本のクラシック音楽シーンで活躍中の演奏家が数多くいます。合格者の活躍といえば、昨年10月の水戸室内管弦楽団の第97回定期演奏会（指揮：ナタリー・シュトゥッツマン）で、ヴァイオリン・パートに川又明日香さん（第12・15・19回合格）が参加したという嬉しい出来事もありました。

今回のオーディションでも、素晴らし

い演奏家の登場に期待しましょう。合格者には9月16日（土）に開催する演奏会にご出演いただくほか、今年から常陽銀行のご支援により水戸市内の常陽藝文ホールで開催する「茨城の名手・名歌手たち 藝文コンサート」、その他、当館主催の様々な演奏会にご出演いただく可能性もあります。未来の大舞台に向かって挑戦する音楽家たちの真剣勝負をどうぞご覧ください。

「茨城の名手・名歌手たち 第27回」
出演者オーディション

4/2（日）※時間等、詳細は3月中旬決定

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

入場無料

審査部門：鍵盤楽器、弦楽器、邦楽（以上ソロ）、
邦楽アンサンブル（2人～5人まで）

審査委員：池辺晋一郎、白井英男、野平一郎、
堀 伝、宮本文昭、吉村七重（五十音順）

2017.2.5

兼氏規雄 クラリネット・リサイタル

古典派時代に書かれたクラリネット音楽の豊かさや、その音色の幅広さを存分に印象づけたのが、2月5日に開催された兼氏規雄さんのリサイタルです。最初は、クラリネット草創期の名手・ルフェーヴルが作曲した〈クラリネットと通奏低音のためのソナタ〉。チェンバロの長澤順さん、チェロの城戸春子さんと、軽やかで美しい演奏が披露されました。その後、シュターミッツの〈クラリネット四重奏曲〉、メインにはモーツァルトが残した傑作〈クラリネット五重奏曲〉が演奏され、

水戸ゾリステン室内アンサンブルの前澤扶美さん、山崎響子さん、澤康子さん、城戸さんとともに、親しげな会話のように温かみのあるアンサンブルが繰り広げられました。アンコールは、モーツァルト作曲〈アレグロ〉。《高巣》■兼氏先生のクラリネットがとても上手でした。また機会があったらいきたいです♪（水戸市の方）■兼氏さんのつややかでのびやかな音色に心地よい午後のひとときを過ごさせていただきました。（水戸市の方）

最近の公演から



1：兼氏規雄 クラリネット・リサイタル

2017.2.8,9,10

中学生のための音楽鑑賞会 2017

2017.2.10

ちょっとお昼にクラシック トリオ・インク

水戸市立中学校を中心とする1年生と引率の先生、約2,600人を対象に5回の音楽鑑賞会、さらに最終日の6回目を一般向けの「ちょっとお昼」公演として開催した。出演は、水戸室内管弦楽団メンバーの川崎洋介さん(ヴァイオリン)を中心に、ヴォルフラム・ケッセル(チェロ)、ヴァディム・セレブリャーニ(ピアノ)から成るトリオ・インク。テーマは「世界中に広がる音楽」。バッハからはじまり、モーツァルト、ベートーヴェン、リスト、チャイコフスキー、ガーシュウィン、ピアソラ、ケージ、武満、メシアン の作品を駆け足で演奏し、曲間にはこの公演のために特別に制作したアニメーションを上映した。それぞれの作曲家が先人の影響を受けて創作を行い、時代や地域を超え、ヨーロッパ起源の音楽が世界中に広がって行った様子を演奏と映像でお楽しみいただいた。アニメーションに合わせてACM劇場でおなじみの俳優・堀口理恵さんがナレーションを担当した。さらに、中学生公演では終演後にパイプオルガンによるバッハ(小フーガト短調 BWV578)の演奏も行った。オルガン演奏は野田優子さん。《中村》「ちょっとお昼」公演のアンケートから■まるで世界の遊覧音楽旅が出来たようです。3人の息のあった深い温かい演奏で感動いっぱいです。(茨城県内の方) ■時間と世界をこん

なふうの旅することができるなんて素晴らしい!水戸の子ども達はなんとめぐまれているのでしょうか。(取手市の方)

2017.2.12

合唱セミナー 2017

講師：清水敬一

茨城県合唱連盟ほかとの共催により、水戸芸術館で毎年行っている「合唱セミナー」。今年は、日本を代表する合唱指揮者で全日本合唱連盟理事の清水敬一氏を講師にお招きしました(ピアノは田中直子氏)。講習曲は、池辺晋一郎氏作曲の〈私たちが進みつづける理由〉(作詞：キム・ロザリオ、訳詞：堤未果)、〈今日は日曜日…昔気質のプロテストソング〉(作詞：片岡輝)の2曲。〈私たちが進みつづける理由〉については、シンプルで力強い英語原詩の文体が紹介され、また〈今日は日曜日〉については、歌詞の中で言及される「40年ほど前」、「30年ほど前」、「20年ほど前」、「10年ほど前」、「1年ほど前」の出来事(世界各地で起こった戦争や虐殺)が解説され、それらを踏まえて、歌詞のメッセージを効果的に伝えるための抑揚の付け方、強調すべき単語とその発音の仕方などが指導されました。講習は終始なごやかな、打ち解けた雰囲気が進み、ユーモアを交えた清水氏の指導に、会場からはたびたび笑い声が起こっていました。セミナーの最後は、200名を超える受講生全員がステージに上り、清水氏の指揮のもと、講習曲を合唱して締めくくりとなりました。《篠田》



2：中学生のための音楽鑑賞会 2017/
ちょっとお昼にクラシック トリオ・インク

3-4：合唱セミナー 2017

2017年春、参加者大募集!!

新しい楽器への挑戦、水戸芸術館での演奏会の企画など、皆様の応募をお待ちしています。

●「市民のためのオルガン講座」受講生募集

国産最大級のパイプオルガンを弾いてみませんか?講師は、水戸芸術館音楽部門の元主任学芸員であり、現在はオルガニストとして全国各地で活躍中の室住素子さん。「実技レッスンコース」(9月から来年3月にかけて奏法を学び、春の発表会への出演を目指す/定員5名)と「一回体験コース」(気軽に1時間、ご興味に沿った形でオルガンを体験/定員12組)があります。

■募集期間 4/1[土]~6/4[日] ■開講時期 2016年9月~2017年3月

※詳細は、3月中旬にウェブサイトやチラシで発表します。

●「準・メルクル 弦楽器貸与プロジェクト」貸与者募集

水戸室内管弦楽団と度々共演している指揮者、準・メルクルさんから寄贈された弦楽器のうち、ヴァイオリン4挺、ヴィオラ2挺を、音楽を学ぶ茨城の学生の方に貸与します。さらなる研鑽を積もうとする若者の育成・支援を目的としています。

■募集期間 4/5[水]~4/20[木] ■貸与期間 2017年5月より3年間

■実技審査 4/30[日]14:00(会場:コンサートホール ATM)

※詳細は、ウェブサイトやチラシをご覧ください。

●平成30年度「茨城の演奏家による演奏会企画」募集

茨城ゆかりの演奏家、演奏団体の皆さんに、リサイタルや演奏会をコンサートホール ATM で開いていただく「茨城の演奏家による演奏会企画」の平成30年度の実施企画を募集します。毎年10公演程度を、ご出演者・ご出演団体と(公財)水戸市芸術振興財団との共催で開催しています。リハーサルのための会場使用は5日間、最大20時間まで可能です。募集の詳細は本紙4ページをご覧ください。コンサートホールでリサイタルや演奏会を開催するには、周りの方のご協力やたいへんなエネルギーが必要となると思いますが、多くの皆様からのチャレンジをお待ちしております。



平成30年度の「茨城の演奏家による演奏会企画」を下記の要領で募集いたします。

【応募要項請求方法】

- ①水戸芸術館エントランスホール・チケットカウンターにて直接入手
- ②82円切手を貼付し返信先を記入した封筒を同封の上、下記宛て郵送
- ③水戸芸術館ホームページ [http://arttowermito.or.jp/] よりダウンロード

【応募対象】

- 個人：イ) 茨城に本籍を有する
ロ) 現在、茨城県内に居住している
ハ) 現在、茨城県内に通勤・通学している (週に4日以上)
ニ) 過去において茨城県内に居住・通勤・通学したことがある
- 団体：茨城県を中心に活動されている団体
※ただし、平成28、29年度の「茨城の演奏家による演奏会企画」にご出演された方はご応募できません。

【受付期間】2017年5月9日(火)～6月9日(金) [当日必着]

【開催時期】平成30年度(2018年4月～2019年3月)

【提出資料】①所定の申込用紙

- ②これまでの演奏歴を示す資料(演奏会チラシ等)
- ③住民票の写し
- ④2016年6月1日以降の演奏のデモ音源
- ⑤返信用封筒一部(82円切手を貼付し、本人の住所・氏名を明記すること)

【お問い合わせ】〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

水戸芸術館 音楽部門「演奏会企画」係
TEL.029-227-8118 / FAX.029-227-8130 (担当：中村)

2017年度「市民のためのオルガン講座」受講生募集!

オルガニスト・室住素子さんによる丁寧なご指導のもと、国産最大級のパイプオルガンを弾いてみませんか?詳しくはチラシや当館ウェブサイトをご覧ください。

【募集期間】2017年4月1日(土)～6月4日(日) [当日必着]

チケット・インフォメーション

《3月25日(土)発売分》

■ちよっとお昼にクラシック 吉野直子 (ハープ)
6/7 (水) 13:30 開演
料金 [全席指定] ¥1,500 (1ドリンク付き)

■ラッヘンマンの肖像

6/17(土) 15:20～ラッヘンマン自身によるプレ・トーク(通訳付き)、16:00 開演
料金 [全席指定] 一般 ¥4,000 / ユース (25歳以下) ¥1,500

これからの演奏会・残席情報

- …残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席
- ◎小さな聴き手のためのコンサート 音楽物語「ぞうのパバール」
……………3/26(日) 中央○、左右○
- ◎ちよっとお昼にクラシック 小林沙羅 (ソプラノ) ～母の祈りの子守歌～
……………4/9(日) 中央△、左右○
- ◎水戸室内管弦楽団 第99回定期演奏会
(第2部指揮:小澤征爾、ピアノ:マルタ・アルゲリッチ)
……………5/12(金) 完売
……………5/14(日) 完売

※3/1(水)現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

水戸芸術館の主な4月のスケジュール

コンサートホール ATM

■「茨城の名手・名歌手たち 第27回」出演者オーディション
4/2(日) 時間未定(3月中旬決定) 入場無料

■ちよっとお昼にクラシック 小林沙羅 (ソプラノ) ～母の祈りの子守歌～
4/9(日) 13:30 開演
料金 [全席指定] ¥1,500 (1ドリンク付き)

エントランスホール

■パイプオルガン プロムナード・コンサート
4/1(土) 石川優歌、8(土) 田宮亮、23(日) 安井歩
各日 12:00～/13:30～(各回30分程度) 入場無料

■プロムナード・コンサート EXTRA

4/16(日) 牛草春 (ヴァイオリン) ほか
12:00～/13:30～(各回30分程度) 入場無料

ACM 劇場

■伝統芸能のスズメ [狂言] 野村万作抄 24
4/15(土) 18:30 開演
料金 [全席指定] S席 ¥5,000 / A席 ¥4,500 / B席 ¥3,500

■ゆうくんとマツさんの『ラチとらいおん』
4/29(土・祝)、30(日) 11:00 / 15:00 開演、5/3(水) 11:00 開演
料金 [全席指定] 大人 ¥2,000 / こども (小学6年生以下) ¥1,000

現代美術ギャラリー

■藤森照信展—自然を生かした建築と路上観察
3/11(土)～5/14(日) 9:30～18:00 ※入場は17:30まで
[休館日] 月曜日 ※ただし、3/20(月・祝)は開館、翌3/21(火)休館
[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600
※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■高校生ウィーク 2017

3/11(土)～4/9(日) 【無料招待対象】高校生または15歳～18歳の方
※学生証または年齢がわかる証明書をご提示ください
【カフェ開場時間】(火-金) 15:00～18:00、(土・日・祝) 13:00～18:00
【カフェ会場】現代美術ギャラリー内ワークショップ室

水戸の主な4月の演奏会

■佐川文庫 TEL / 029(309)5020

・Andiamo 大須賀恵里 ピアノ室内楽シリーズ
～未来を囁望される若者を迎えて～ 4/27(木) 18:30 開演

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000
営業時間: 9:30～18:00 (月曜休館)

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://blog.arttowermito.or.jp/staff/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

 @ConcertHall_ATM @art_tower_mito
 www.facebook.com/arttowermito

編集後記

妹の勤める小学校で、穴うさぎが大量発生(事務員さんが餌代に頭を抱えるほど)したため、我が家でも一羽請け負うことになりました。まだ対面していませんが、ペット用の品種ではないので、野性味溢れる様子です。(り)

野菜のマリネ作りに嵌っています。小さい頃は酸味が苦手だったのですが、最近になってやっと美味しさに気が付きました。作り置きすることができるので、休みの日に一気に作って、毎日少しずつ食べるのが楽しみです。(峠)

外が好きな長男(1歳9か月)と朝散歩に行くのが日課。半年前は車の出入が少ない近所の駐車場が遊び場。やがてその先の公園で遊ぶようになり、その先、さらに先へ。子どもの世界は広がり、私は出勤前に疲労困憊。(篠)

CDプレーヤーが読み込みも再生もできなくなり、メーカーに修理に出したところ「何の問題もありませんよ」。うそだ、あれだけ不調だったのに…。宅配トラックに揺られたのが良かった?配送料=修理代ですな。(て)

ぞうのパバール公演、3月は水戸に加えて碧南にも旅します。そして急遽開催が決まったのが「パバールのぬりえをやってみよう!」企画。優秀作品は柳花緑さんが当日舞台上で紹介してくれるかも!?詳細はウェブにて。(樹)

碧南市芸術文化ホールは1993年の開館以来、当館との提携公演を行ってくれている。昨年はMCOメンバー島田真千子さんが、リサイタルを行った。その時のヴィヴァルディ(四季)等のライブ録音が、ALTUSよりリリース予定だ。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]
2017年4月発行 第217号
編集発行: 水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130
E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp
URL <http://arttowermito.or.jp/>
編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子
大峠百合香 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン・印刷所: 山三印刷株式会社